



特定非営利活動法人 日本オリンピック・アカデミー (JOA)
 公益財団法人 日本オリンピック委員会 (JOC)



2025年度 第2回 JOAコロキウム(談話会) 通算254回

12.21 日 15:00-16:00

JOA会員&学生：参加無料

一般：1,000円

場所：日本オリンピックミュージアム

+JOA会員はオンライン (Zoom) 参加可

国際委員 対談

～オリンピック・ムーブメントと、
ミラノ・コルティナ2026冬季大会～

総合司会：中水 陽子 (JOA)

15:00 ～ 主旨紹介 ～ 青柳 秀幸 (JOA)

15:10 ～ 対談 ～ モデレーター：結城 和香子 (JOA)

猪谷 千春 氏 (JOA最高顧問 / IOC名誉委員 / オリンピアン)

IOCでは副会長 / 理事 / 倫理委員などを多数歴任。スポーツ界では、
ワールドトライアスロン名誉委員、国際スキー連盟委員などを歴任。

スキー / アルペン (男子回転)

オスロ1952冬季大会_11位, コルティナ・ダンペッツォ1956冬季大会_2位 = 日本人冬季初のメダル,
スコーバレー1960冬季大会



小谷 実可子 氏 (JOC常務理事 / アジアオリンピック委員会理事 / オリンピアン)

現在、世界オリンピックズ協会副会長 / 日本オリンピックズ協会会長を兼務。

その他、IOCアスリート委員など国内外で多数の要職を歴任。

長野1998冬季大会の開催に際しては国連総会に民間人として初出席 &
「オリンピック停戦決議」を提議し、満場一致で採択された。

水泳 / シンクロナイズドスイミング (※現アーティスティックスイミング)

ソウル1988大会_ソロ：3位 / デュエット：3位, バルセロナ1992大会



〈主な対談キーワード〉

- ・ミラノ・コルティナ2026冬季大会や今後の夏季/冬季オリンピック競技大会の在り方と課題
- ・理念(オリンピズム)に基づいた、国内外におけるムーブメントの推進の在り方と課題
- ・IOC 新会長と JOC 新会長の今後と、JOAおよびJOA会員に期待することなど

15:40 ~ 16:00 ～ 質疑・応答、談話 ～ ※当日は質問フォームをご用意いたします

16:30 ~ 18:30 ～ 懇親会を別途開催いたします ～

・お問い合わせ：joa_session@olympic-academy.jp

【主催】特定非営利活動法人 日本オリンピック・アカデミー (JOA)

【共催】公益財団法人 日本オリンピック委員会 (JOC)

【後援】公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団

特定非営利活動法人 日本オリンピックズ協会 (OAJ)

日本ピエール・ド・クーベルタン委員会 (CJPC)

～ お申し込み方法 ～

⇐QRコードよりお願いします

⇐12/20(土)まで

⇐懇親会は12/9(火)まで
先着35名



JOA とは？

日本オリンピック・アカデミー (JOA)は、1978年にオリンピックに関心のある教育・研究者や一般の人々を中心に設立されました。

2005年からは、特定非営利活動法人日本オリンピック・アカデミーとなりました。英語名称は“Japan Olympic Academy” (略称JOA)です。JOAはギリシャに本部を持つ国際オリンピック・アカデミー (IOA、1949年設立、1961年活動開始)を頂点とする世界の約150 (2024年現在)の国と地域にある国内アカデミーの1つです。活動の功績により、2018年にはIOAから

「アテネ賞」を授与されました。2024年現在、会員数は約250名です (学生を含む正会員、一般会員)。

オリンピックを競技だけでなく、様々な側面から幅広い視点でとらえてみようとするメンバーで構成されています。活動の関心事や対象は、オリンピック・パラリンピックの理念や歴史、大会のあり方、社会との関係、スポーツ医学や生理学、オリンピック・ムーブメントの普及や教育など、多岐にわたっています。

一人ひとりの視点や考えを尊重しながら、一緒に活動しませんか？

主な事業

- ◇毎年異なるテーマで開催する一大イベント **JOAセッション (講演・シンポジウム等)**
- ◇どなたでも気軽に情報・意見交換できる **JOAコロキウム (談話会)**
- ◇会員向けに開催する **JOAレクチャー、オリピック憲章勉強会**
- ◇IOAセッションなどへの**会員海外派遣**
- ◇機関誌「**JOA Times**」の発行
- ◇**出版物の刊行・監修**
(オリンピック小事典、オンライン誌など)
- ◇学校や一般組織・団体への**講師派遣**
(内容は基礎的なものや会員の専門など)



↑JOAセッションの様子
(テーマの例：2023_オリンピックの価値・魅力の再確認、2021_オリンピックのソリダリティ、2018_オリンピック教育 継続と充実)



↑各種 普及活動



↑中・高生対象教育プログラムへの講師派遣



↑海外セッションの様子 学生も参加可。
～ギリシャ(オリンピア)を中心に毎年開催～

～ 20年以上続く、JOAコロキウムの歴史 ～

2002年6月18日、東京都渋谷区に所在していた(旧)岸記念体育館内のスポーツマンクラブにて、記念すべき第1回目が開催されました。

当初は〈映像を用いた自主グループ勉強会〉として発足しました。

2023年までは1ヶ月に1回のペースで開催され、なんと243回も開催されました。

2023/2024年度はJOAの運営体制の大幅な世代交代に伴い、若手会員らによる研究・活動報告が〈コロキウム (談話会) 〉として行われました。

2025年度は、次年度以降の在り方を検討/展望しながら開催いたします。

～ 2025年度の企画背景 ～

JOAセッションと共通のトピック = 「ミラノ・コルティナ2026冬季大会」を用いることにしました。新たな試みとして、従来は触れられることがなかったオリンピックの視点や大会を支える側の視点、メディアからは報道されることが少ない大会の裏側や実態、JOCの取り組みなどに着目することにしました。

アスリート (オリンピック) としての大会への参加・関与の仕方限定することなく、オリンピック・ムーブメントの実際の推進・展開方法や、ムーブメントに参画する人々の多様性に関わる話題を提供していただきます。

参加者のみなさんが新たな知見を得られる機会を目指します。



日本オリンピックミュージアムの
詳細はこちら→
最寄駅_外苑前/千駄ヶ谷/信濃町



← JOA ホームページはこちら